

銀杏企画三丁目の掲示板

[トップページへ戻る](#)

Name	<input type="text" value="国土無双"/>	e-mail	<input type="text"/>
Title			
<input type="text"/>			
Message			
<input type="text"/>			
<input type="button" value="とうこ"/>			

[711] 書き込みが重なる事をどう考えるか 2008年5月17日 13時58分

レオンさん e-mail

国土無双さん。[709]の下から1行目を読みました。掲示板(銀杏企画三丁目の掲示板)には、順番や列はありません。書き込みが重なっても、誰も、全然、謝る必要はない、と私は思います。国土無双さん。お気を使わせてしまい、どうも済みませんでした。

[710] 落書き2 2008年5月17日 13時16分

レオンさん e-mail

国土無双さん。「チャレンジド・パーソン」と「栃木の障がい者雇用のパン屋さんの話」を読みました。長文の書き込み、わざわざ、どうも有り難うございました。又、[691]では、お忙しい中、「まとめ」も書き込んで下さり、どうも有り難うございました。

[694][697][698][699]を読みました。国土無双さん。三八さん。ガガガSPについて、教えて下さり、どうも有り難うございました。又、就労移行支援のプログラムについて、激励して下さい、どうも有り難うございました。

[700]を読みました。国土無双さん。お仕事、無理せず、頑張ってください。

国土無双さんの書き込みは全然迷惑ではありません。みんなが書きたい事を書きたい時に自由に書く事が出来るのが良い「掲示板」だ、と私は思います。

金曜日(2008年5月16日)のバレーボールの練習には私も参加しました。バレーボールの練習は、私にはストレスの発散になります。バレーボールの練習をしていると、私は嫌な事を忘れる事が出来ます。バレーボールの練習では、大きな声を出しても怒られる事はありません。でも、実力が無いので、みんなに迷惑を掛けていないか、それが心配です。

[709] 英国の障が者自立支援の作戦 2008年5月17日 12時46分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

先程の続きですが、これで最後ですので、ご勘弁を。

高齢者が多い社会は、障害のある人が多い社会でもある。障害を活動の妨げとしないために公的支援はどうあるべきか、まずはビジョンが求められている。また、こうした支援のためには、縦割り行政の弊害を除く必要もある。英国の計画書は、保健省、交通省、雇用年金省など6つの中央官庁が一緒になってまとめたものである。ビジョンを構築して省庁を束ねていく点で、まさに政治の力が試されている。

障がい者の自立という言葉がありますが、「人は誰しも、何がしかの支援を得ながら生活している」という言葉が印象的です。それに障がい者は追加的な支援が必要だという考え方、非常に先進的な考え方だと思います。又、ボランティアという形を通して、障がい者が社会参加していくというのはいいことだと思います。

レオンさんと書き込み重なってしまい済みません<m(_)>

[708] 英国の障がい者自立作戦 2008年5月17日 12時44分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

先程の続きです。

具体的な施策としては、住宅、交通、医療、雇用、教育などの面で、各障害者のニーズにあったサービスや情報を提供していく。先の高齢女性の例でいえば、健康、住宅、家計に関して問題を抱えているので、これらの問題に対して情報提供と助言を行なう。また、生活費の支払い確認といった細かな支援も含め、彼女の状況に合ったサービス提供を考える。そして最終的には、支援の内容を彼女自身が決定する。

こうしたきめ細やかな支援の提供は、国の財政を圧迫する恐れはないのか。この点、英国政府が行なった費用対効果の調査によれば、確かに追加的な費用負担を要するが、長期的には費用抑制につながる面があるという。というのは、予防に向けたサービスや個人に適合したサービス提供によって、医療・介護費の抑制を期待できる。

例えば、転倒による股関節骨折のために、英国全体で年間7億3千万ポンド(1,452億円)の医療・介護費が使われたが(2000年)、住宅の修繕によって転倒が防げればこうした費用を抑制できる。また、勤労世代の障害者であれば、経済活動を開始することにより税収増の可能性も指摘されている。

さらに、障害のある高齢者が社会活動に参加できれば、社会全体に与える恩恵も大きい。ちなみに、英国で実施されるボランティア活動の3分の2は、50歳以上の人々が行なっている。また、50歳以上の人々は、家族への介護や孫の世話を無償で担っており、その貢献を金銭換算すれば年間870億ポンド(17兆4千億円)に相当するという。英国は、障害のある高齢者が能動的に活動できる社会に変えることで、高齢化を乗り切ろうとしているようだ。

翻って日本をみると、主要先進国の中で最も早いスピードで高齢化が進展していく。例えば、2020年の英国の高齢化率(全人口に占める65歳以上人口の割合)は19%なのに対して、日本は28%と予想されている(国連推計)。しかも日本では、高齢単身世帯も急増していく。

[707] [695]の訂正 2008年5月17日 12時41分

レオンさん e-mail

[695](「落書き」)。タイトルを「落書き1」に訂正します。

[706] 英国の障害者自立作戦 2008年5月17日 12時31分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

今度はイギリスの障害者自立支援の話です。

[コラム]高齢社会における「自立した生活」 英国における障害者への支援

2008年05月13日 22:31更新

出展:みずほ情報総研ホームページ(<http://www.mizuho-ir.co.jp/>)「コラム/みずほ情報総研(株) 社会保障 藤森クラスター 藤森 克彦 2008年5月13日付」より

89歳のマーガレットはパーキンソン病を患いながらも、一人で暮らしてきた。しかし最近、股関節を骨折したため5週間入院し、自宅に戻ってからも移動に不安を感じている。また、病気が以前よりも悪化しているように思われ、パニック発作も起こるようになった。このため、地域コミュニティや教会の活動をやめている。さらに退院後、追加的な出費がかさみ、経済面での不安も感じている。マーガレットが「自立した生活」を送るために、行政はどのような関与をすべきか？

英国政府は、本年3月に障害者の「自立した生活」を目指す5カ年計画書を発表した。計画書は全年齢層の障害者を対象とし、今後増加していく高齢障害者も視野に入れている。冒頭で示したのは、計画書の中で紹介された一例である。国の施策と障害者の生活実態が乖離しないように、障害者が計画策定に参画し、具体的事例からも課題と対応が考えられている。

ところで、英国政府の目指す「自立した生活」とは何か。これは、人の助けを借りずに生活することではないという。人は誰も、何かしらの支援を得ながら生活しているが、障害者は「追加的な支援」を必要とする。障害によって活動が制限されるのは、追加的支援が提供されないためである。そこで障害者が「自立した生活」を送るためには、日常生活に必要な支援へアクセスできることや、各種サービスの選択や管理を障害者自ら行なえることが重要である。これらを満たして「自立した生活」になると指摘されている。

翻って日本をみると、主要先進国の中で最も早いスピードで高齢化が進展していく。例えば、2020年の英国の高齢化率(全人口に占める65歳以上人口の割合)は19%なのに対して、日本は28%と予想されている(国連推計)。しかも日本では、高齢単身世帯も急増していく。

[705] [659]の訂正 2008年5月17日 12時29分

レオンさん e-mail

[659](少林拳の映画)。上から5行目。「少林少女」は、「少林サッカー」よりは面白くなかった、」を「少林少女」は「少林サッカー」よりは面白くなかった、」に訂正します。

[704] 千葉の作業所工賃アップ作戦 2008年5月17日 12時26分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

次は、千葉の作業所でリサイクルショップをしている作業所の話です。

リサイクル品: 寄付で支援を 障害者自立の一助に - - 船橋の福祉作業所 / 千葉

衣類や日用品のリサイクルショップを運営する船橋市宮本の福祉作業所「かんばす」(岸本昭博所長)が、リサイクル品の寄付を呼びかけている。集まったリサイクル品は同作業所で販売し、売上金は給料として、障害者の自立支援に役立てられる。
【袴田貴行】

かんばすは今年4月、市内の別の場所から、周辺エリアに福祉作業所が少ない宮本地区に移転した。現在、近くに住む9人の身体・知的・精神障害者が通所し、リニューアルオープンしたばかりのショップの運営に携わっている。

かんばすでは、それぞれの通所者の能力や適性に合わせて、チラシ配り、呼び込みなどのPR活動や商品の陳列、売上金の計算などを手分けして行っている。リサイクル品は100～1000円で販売。売上金はほぼそのまま、通所者に給料として支払われる。

岸本所長は「月々の障害者年金だけでは自立した生活は難しく、1万円や2万円でも作業所の給料をいかに増やせるかが重要。地域の皆さんにも力を貸してほしい」と呼びかけている。

営業は平日の午前10時から午後5時まで。問い合わせはかんぱす(電話047・422・6282)。

銀杏で言えばバザーのようなことをして品物を集め、それを売っていると言う事だと思いますが、こういう方法でもメンバーさんの工賃アップにつながるようです。

毎日新聞 2008年5月16日 地方版

[703] 宮城の就労支援NPOの話 2008年5月17日 12時17分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

早速、福祉のネット情報書き込みます。先ずは宮城県の就労支援NPOの話です。

障害者就労NPOで支援 全国初の設立 栗原

障害者の就労を支援しようと、宮城県栗原市などの企業15社がNPO法人「栗原市障害者就労支援センター」を設立し、就労に向けた訓練に障害者の受け入れを始めた。これまで雇用の受け皿にすぎなかった企業が支援側にも回り、さらに積極的に雇用も図る。厚生労働省によると、企業が集まり障害者の就労支援のNPOをつくるのは全国で初めてで、注目されそうだ。

NPOは4月に設立され、理事長には大場俊孝さん(58)が就いた。大場さんは工場を経営する傍ら精神障害者を多く雇用してきたが、就労希望者が多く、社会全体で支える仕組みがつかれないかと地元の企業に呼び掛け、設立した。

事業所の「NPOステップアップ」を市志波姫総合支所2階に設置し、障害者自立支援法に基づく「就労移行支援事業」のほか、相談事業、生活支援を行う。

参加した企業は、同市内の車部品製造業や納豆製造会社、農業法人、飲食店など多岐にわたる。準備期間を経て、5月12日から障害者へのサービス提供を始めた。

障害者はステップアップに通い、基礎教育・訓練として生活リズムの確立、職場でのマナーなどを学ぶ。さらに、NPOに参加した企業で、職場実習などを積む。生産活動に従事した際は、時給で工賃が支払われる。企業は適性を判断した上で、障害者を雇用する仕組み。

障害者は、サービス利用から2年以内の就労を目指す。2年間で10人以上の就労を目標としている。栗原、大崎、登米の各市と美里町に住む障害者が対象となる。

県障害福祉課によると、就労移行支援事業に取り組む事業所は県内で22カ所。企業実習の受け入れ企業の開拓が難しく、雇用に結びつく実績も少ないのが現状という。「ステップアップの取り組みは例がなく、障害者の就労に期待したい」(同課)と話す。

理事長の大場さんは「就職への意欲がある障害者は家に引きこもらず、チャレンジしてほしい」と呼び掛けている。

連絡先はステップアップ0228(22)7051。

2008年05月16日金曜日

就労支援移行コースと同じような試み民間でも行われているようです。企業側でも障がい者就労積極的に行おうとしているところあるようで何よりです。

[702] ブルーアイズさんありがとうございます(^_^) 2008年5月17日 12時13分

国土無双さん e-mail

こんにちは、国土無双です。

ブルーアイズさん、国土無双の表彰の件褒めて頂きありがとうございます。どうか、ブルーアイズさんもお望み叶うようご無理なさらず、頑張ってください！！

ネット情報に関しては、了解です。
ブルーアイズさんの仰るように、3,4件書き込んで行きたいと思います。
次の番で書き込みしますので、悪しからず。

ところで、セカンドのディズニーリゾート行き変更になってしまったのですか？
昨日ならお天気も気温も行事に最適だと思いましたが、火曜日はどうなのでしょう
か？
ちょうどファーストと同じ日のようで、お天気いいと良いですね。

ではでは、ネット情報書き込みます。

まえのページ

あたらしいページ

パスワード 削除番号

powered by **du one**
NET